



表紙のことば

2月9日～11日、エコパで「春よ恋まつり」が行われました。

富士山のふもとから運ばれてきた雪でエコパに雪の広場が出現！雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、普段見慣れない雪に子どもたちは大喜び。そり滑りでは、転ばないように上手にバランスをとって、風をきって遊んでいました。

ほかにも袋井茶の無料サービスやたまごふわふわ、富士宮やきそばなどのグルメコーナーも設置され、多くの家族連れでにぎわっていました。

市民の動き

人口 / 86,366人 (前月比+19人)

(外国人登録者4,082人含む)

男性 / 43,620人 (前月比+7人)

女性 / 42,746人 (前月比+12人)

世帯数 / 30,224世帯 (前月比-18世帯)

平成20年2月1日現在



2008年(平成20年)3月1日発行 第71号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

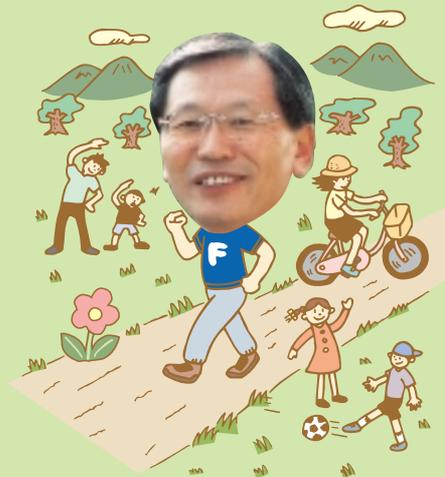
【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

原田市長の

さんぽみち

散歩道



袋井市内には、太田川、原野谷川、弁財天川とその支流が数多く流れている。春には菜の花、秋には彼岸花が堤防一面に咲いて、冬には渡り鳥が水面で遊んでいる。河川公園では、サッカーや花火大会も開かれ、バーベキューもできて、市民にとって大きな財産であるが、草刈りや大雨時の冠水対策も迫られている。

これらの川を管理する県では「リバーフレンドシップ」と名付け、草刈りをお願いしている地域の自治会に、草刈り機や収納袋を提供する事業を行っている。先月の14日に、今井小学校で「リバーフレンドシップ」の調印式が行われ、私も参加した。市内の小学校では初めてで、学校のクリーン委員会の児童9人が立

「水のあるまち」

会人になった。

今井小学校では、「水辺と読書」を学校の特長としているだけに、近くを流れる太田川の清掃や動植物の生態をすでに学習の場にも取り入れている。この調印を契機に児童と太田川のかかわりが一層深まって、川の利活用を通して、

袋井市の環境問題についての将来のあり方を描いてくれることを楽しみにしている。

大雨の時の冠水対策の決め手は、下流から順序よく行う河川改修であるが、多額の経費が掛かるのでなかなか進まない。県と市では、改修とあわせて遊水池を設け

るアクションプランを作成した。大雨時に一時的に水を貯めておく池を造って、排水能力を大きくする方法で、冠水対策として、全国各地でその効果が上がっている。

袋井市内の冠水状況を考えると、各所に相当数設ける必要がある。せっかく造る遊水池なので、周囲を公園風にして、みんな楽しんでみる遊水池公園にすれば、市内にいくつもの水に親しむ公園がある都市になる。

昔から幾多の水害に悩まされてきた袋井市が、心のやすらぎを求める今の時代に、冠水対策と同時に、水のある景観を活用した先進的な住みよい街に変わることができれば、すばらしいことであると思う。